

京都府立大学学術報告

人 文

第 23 号

目 次

地獄の一季節 註解(十七)	小 田 良 弼	(1)
わ び 考 (上)	中 井 和 子	(24)
『陰徳記』から『陰徳太平記』へ ——戦国軍記の衰頽——	笹 川 祥 生	(40)
元稹年譜稿(下)	花 房 英 樹	(52)
日本近代文 学における 批判派と反逆派 (そのVI)	近 松 良 之	(67)
音楽家とその境遇——J・S・バッハの場合——	浅 尾 己巳子	(83)
DIE SUBJEKTIVE WAHRHEIT UND DIE AUSNAHME- EXISTENZ (I) ——Ein Problem zwischen Philosophie und Theologie——		
SUEO TAKEDA (1)		
ポパー研究「哲学の可能性」——そのIV—— 第四章 哲学の可能性		
高 島 弘 文 (22)		
ΕΠΕΙΣΟΔΙΟΝ——ギリシア悲劇の構成部分としての そのあり方——(その1)		
中 村 善 也 (34)		
シェイクスピアの女性——(その1) デズデモウナとエミーリア——		
梶 井 幹 生 (51)		
シェリーの『プロミューズ解縛』——一つの解釈——		
床 尾 辰 男 (68)		
ベルジャーエフの人間学における社会的実存と歴史的実存 ——人格主義的教育学の基礎を求めて——		
谷 川 守 正 (82)		
一般教育の再検討		
滝 内 大 三 (95)		
女 性 と 船		
益 田 庄 三 (111)		
児童福祉と児童文化の関係について		
野 口 栄 子 (126)		
発達の質的転換過程の研究〔3〕 ——1次元可逆操作獲得過程における発声活動の変化——		
長 島 瑞 穂 (135)		

京 都 府 立 大 学

1 9 7 1

京 府 大 学 報・人 文
Sci. Rep. Kyoto. Pref. Univ., Hum. Sci.